

津軽鉄道イメージキャラクター募集用資料

津軽鉄道の概要

津軽鉄道は、昭和5年（1930）年7月15日に（津軽五所川原～金木間）が、その後同年11月13日に残る（金木～津軽中里間）が津軽半島環状鉄道形成の一部として開業。津軽平野北部の中心都市五所川原を起点とし、作家太宰治の生地五所川原金木町を経由し中泊町へ至る20.7kmの地方民鉄です。

当鉄道では、四季折々さまざまなイベントが催され、夏の『風鈴列車』や秋の『鈴虫列車』そして全国的にも有名な冬の『ストーブ列車』など、素朴で味わいのある列車を運行し県外からおいでの観光客等に好評を得ております。

風鈴列車とは・・・

津軽金山焼で作られた風鈴を車内に吊るし、「カラカラ」と津軽の音色を奏でる。涼味豊かな風鈴列車。駅・ホームでは南部鉄風鈴が透き通る音色を奏で、様々な音色で奥津軽の夏到来を感じさせる風物詩となっております。



鈴虫列車とは・・・

駅員が心を込めて飼育した鈴虫を、虫かごに入れ車内の棚に2個設置いたします。五所川原の駅・ホームでも鈴虫たちが爽やかな音色を響かせております。奥津軽に秋を告げる風物詩として親しまれております。



津軽鉄道イメージキャラクター募集用資料

ストーブ列車とは・・・

客車にダルマストーブを2個つけて暖房とし、車窓から地吹雪の景色を眺める、ノスタルジックな列車として運行。車内では地元のスルメや、ストーブ酒が購入でき、「ゆっくり津軽の景色をながめる」、「おいしいスルメと地酒を飲みながら」等様々な楽しみ方ができる列車で、奥津軽の冬の風物詩として運行しております。



沿線の風景



津軽鉄道イメージキャラクター募集用資料



津軽鉄道イメージキャラクター募集用資料



津軽21
走れメロス号



ラッセル車



キハ21



タム



モーターカー
除雪仕様



ナハフ



オハ・オハフ
(ストーブ列車)



モーターカー



石炭ストーブ

津軽鉄道イメージキャラクター募集用資料



もっと津軽鉄道の沿線について、どんな感じかお知りになりたい場合は

津軽鉄道活性化協議会ホームページ http://www.city.goshogawara.lg.jp/06_kikaku/kaseikyo/

五所川原市 <http://www.city.goshogawara.lg.jp/>

中泊町 <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

津軽鉄道公式ホームページ <http://tsutetsu.com/>

特定非営利活動法人津軽半島観光アテンダント推進協議会ホームページ <http://t-ate.com/>

その他、グーグルや、ヤフー等の検索サイトにて「津軽鉄道」で検索していただき、検索結果のページ上段にある、ウェブ 画像 動画 等の表示から 画像や動画を選んでお探しく下さい。

平成26年12月作成

津軽鉄道株式会社 総務課